

「自著を語る」シリーズ

死とオベリスク

—墓石のグローバル・ヒストリー—

サウス・パーク・ストリート・セメタリー、コルカタ

2025年 **10/31** 金 17:00~18:00

講演者：富澤かな（東京大学大学院人文社会系研究科准教授／CEGLOS 客員研究員）

開催：対面およびオンライン (Zoom) オンライン参加は要申込

会場：国際関係学部棟 1 階 3104 室（対面参加の方は申込不要）

オンライン参加を希望される方は、二次元コードまたは URL のフォームからお申込みください（申込必須）。

<https://forms.gle/cNPYSRVDqQScGusY7> 申込〆切：10/28火



欧米の墓地には、古代エジプトの柱状建築物、「オベリスク」のかたちの墓石が数多く見られます。これはナポレオンのエジプト遠征に始まるエジプト研究の進展とエジプト意匠の流行、そして教会外の近代的共同墓地の成立によって、19 世紀に成立・普及したものとされてきました。ですが、インドの西洋人墓地には、実はそれ以前より数多くのオベリスク型の墓石が作られています。なぜ、インドで墓にオベリスク？この疑問から「死とオベリスク」のグローバル・ヒストリーを試みた本についてお話しします。

『死とオベリスク』（中央公論美術出版、2025年）

問い合わせ：国際関係学部／CEGLOS 石井由香 (yishii@u-shizuoka-ken.ac.jp)



カルロ・モンディーニの墓、チェルトーザ墓地、ボローニャ



J. B. フィッシャー・フォン・エルラッハ
《アルテミシアの霊廟》『歴史的建築の構想』